

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会

第2回連携強化ワーキンググループ
意見交換

自己紹介

- ①班内で自己紹介をお願いします
- 所属
 - 氏名
 - 普段の業務概要
 - 被災地での経験の有無 など

タイムスケジュール

内容	目安時間
自己紹介	5分
フェーズ整理	25分(14:25まで)
体制構築検討	25分(14:50まで)
発表	各班3分

- ②自己紹介終了後、
意見交換のファシリテーター、発表者を決めてください

議題①のご説明の後、ブレイクアウトルームに切り替わります。
意見交換終了後、自動的にメインルームに戻ります。待機ください。

※退出をクリックすると会議全体から退出してしまうのでご注意ください

支援が必要となるフェーズの整理

- 支援が必要となるフェーズの抽出・意見交換
 - 支援-受援体制の構築のため、自市町村が被災した際に支援が必要になると想定されるフェーズと内容を具体的に抽出してください(次頁参照)。
 - 事業者の方は、自身の事業範囲で支援できる事項について、可能な限り詳細に記載ください。
 - 抽出した事項について意見交換し、時系列に整理してください。

表 1-3-1 発災後の時期区分と特徴

時期区分		時期区分の特徴	時間の目安
災害応急 対応	初動期	人命救助が優先される時期(体制整備、被害状況の確認、必要資機材の確保等を行う)	発災後数日間
	応急対応 (前半)	避難所生活が本格化する時期(主に優先的な処理が必要な災害廃棄物を処理する期間)	～3週間程度
	応急対応 (後半)	人や物の流れが回復する時期(災害廃棄物の本格的な処理に向けた準備を行う期間)	～3カ月程度
復旧・復興		避難所生活が終了する時期(一般廃棄物処理の通常業務化が進み、災害廃棄物の本格的な処理の期間)	～3年程度

※時間の目安は災害規模や内容によって異なる(東日本大震災クラスの場合を想定)。

出典:「災害廃棄物対策指針(改定版)」(平成30年3月、環境省)

意見交換の進め方

- ①【個人ワーク】意見をチャットに書き込んでください(5分程度)
- ②【グループワーク】班内の意見を共有し、課題を整理してください(20分程度)

参考) 初動期(発災後数日間)～応急対応前半期(～3週間程度)における 災害廃棄物処理における主な実施事項

フェーズ	分類				
<p>災害発生</p> <p>～12 時間</p> <p>(水害の場合は、発災前から実施)</p>	<p>1) 安全及び組織体制の確保 (P14)</p> <p>① 身の安全の確保</p> <p>② 通信手段の確保</p> <p>③ 安否情報・参集状況の確認※</p> <p>④ 災害時組織体制への移行</p>	<p>2) 被害情報の収集・処理方針の判断 (P15)</p>	<p>3) 生活ごみ・避難所ごみ・し尿の処理体制の確保 (P18)</p>	<p>4) 災害廃棄物の処理体制の確保 (P19)</p>	<p>5) 継続的な一般廃棄物処理体制の確保 (P21)</p>
<p>～24 時間</p>	<p>※ 委託業者、許可業者の確認も含む</p>	<p>① 被害状況収集開始及び都道府県への連絡</p> <p>② 翌日以降の廃棄物処理の可否の判断 ★</p>		<p>① 仮置場の確保 ★</p>	
<p>～3 日</p>		<p>③ 災害廃棄物発生量推計に向けた情報収集</p> <p>④ 被災状況の把握と支援要否の判断 ★</p> <p>⑤ 被災状況に応じた支援要請</p>	<p>①-1 生活ごみ、避難所ごみの収集運搬体制の確保</p> <p>①-2 し尿の収集運搬体制の確保</p> <p>② 住民・ボランティアへの周知</p> <p>③ 収集運搬の実施</p>	<p>② 災害廃棄物の回収方法の検討 ★</p> <p>③ 収集運搬車両・資機材・人員の確保</p> <p>④ 住民・ボランティアへの周知</p> <p>⑤ 仮置場の設置・管理・運営</p>	
<p>～1 週間</p>	<p>注1) 左側の「フェーズ」は、それぞれの初動対応を実施または開始する時期である。一部の初動対応(例：連絡、情報収集、周知等)は、その後も継続して実施する。</p> <p>注2) ★：特に決定権者(市区町村長、部局長、課長等)による判断が必須となる。</p>				<p>① 継続的な処理体制への移行</p> <p>② 一般廃棄物処理の継続</p>
<p>～3 週間</p>					<p>③ 初動対応以降の処理方針の検討 ★</p>

支援-受援体制の構築の検討

- 支援-受援体制の構築のため、先ほど整理した支援が必要な事項について、支援要請先を抽出してください。事業者の方の支援できる事項についてのマッチングもお願いいたします。
- 支援要請先の抽出ができたなら、支援-受援の成立のために必要な実施項目も併せて整理してください。
- 整理の際には、第1回WGで検討した「関係者との連携に関する課題・解決策（資料1のp.4-5）」を参照してください。

意見交換の進め方

- ①【個人ワーク】意見をチャットに書き込んでください(5分程度)
- ②【グループワーク】班内の意見を共有し取りまとめ、発表者を決めてください(20分程度)

意見交換後、メインルームに切り替わります。そのまま待機ください。